

議案第11号

飛騨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

反対討論

籠山 恵美子

この改正は、これまですでに施行されている低所得者への2・5・7割負担軽減措置を、負担軽減することができるとの改正である。

しかし問題はその財源を、その他の加入者の保険料に求めることである。

当局の説明でも、軽減率を1割上げればその分は他の加入者が1世帯あたり5千円強を負担することになる。

負担軽減のための財源は本来、市や国が責任を持つべきで、このような加入者同志で首を絞めあうような制度改正には賛成できない。

議案第61号

平成25年度飛騨市一般会計予算

反対討論

籠山 恵美子

新年度事業の中には、市民要望が実現したものもいくつかあり、個々には評価できる。

一方、とくに福祉行政に疑問を感じる。予算の組み方には、審査の中で他議員からもいくつも指摘や批判があった。

市の予算はため込みの傾向が強い。もともと抜本的な行財政改革をしなければ市民生活を守る市政は実現しない。

また市はとくに、保育士、司書、調理員など専門職にもかかわらず女性の職場は5年の雇い止めが多い。これらをあらため、ため込みすぎの基金と財政を見直すべきである。

賛成討論

谷口 充希子

平成25年度予算は、政策総点検での市民の声を着実に反映させたもので、政策見直しと中味充実の予算編成がなされました。人口減少、少子化対策、地域、組織、産業の活性化。シルバー世代の生きがいと自律、加えて障害者雇用の理解と推進や市民病院の医

師不足確保等きまこまかいソフト事業が計画されています。本年は合併10周年の節目として記念式典や行事ももりこまられています。市民が安心して暮らせる町実現に向けた、身の丈にあった予算編成であることを認め賛成討論とします。

議案第73号

平成25年度飛騨市給食費特別会計予算

反対討論

籠山 恵美子

飛騨市の学校給食は住む地域によって給食費に格差がある。給食費は特別会計で統一しているのだから、その費用は安いほうに合わせ保護者負担を減らすべきである。

市はこれまで、水道料金など合併を理由に均一化を強行してきたのに、子どもの給食費の格差には知らんぷりである。市内どこに住んでも同じサービスを受けることは、子どもにとっても当然のこと。少子化を懸念するならば、このような格差を解消することは行政の責務であり、この議案には反対する。

3月定例会の提出議案等における各議員の賛否一覧

※これ以外の案件等は全会一致で可決等されています。

議員名 議案名等	前川 文博	中嶋 国則	田中 清安	洞口 和彦	野村 勝憲	後藤 和正	福田 武彦	菅沼 明彦	内海 良郎	森下 真次	高原 邦子	谷口 充希子	天木 幸男	葛谷 寛徳	山下 博文	池田 寛一	籠山 恵美子
議案第11号 飛騨市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第61号 平成25年度飛騨市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×
議案第73号 平成25年度飛騨市給食費特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×

※○は賛成、×は反対

※議長は裁決に加わりません。但し可否同数の場合は議長裁決となります。